

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (568), 課コード (1703), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要(PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget and personnel data.

2. 事業の評価(DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Summary table for post-evaluation with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善案及び展開方向

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (592), 課コード (1703), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価, 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns: 現状どおり推進, 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	1935	課コード	1703	会計種別	一般会計	予算の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 保育施設の充実 個別事業 私立保育園等施設整備への補助	実施計画への位置づけ	○有 ○無		②部課名	子ども部・保育課				
	③事業主体	●市 ○その他 ()	④対象地区	□我孫子 □天王台 ■湖北 ■新木 □布佐 □全市							
	⑤事業期間	平成30年度 ~ 令和2年度		⑥担当職員数	5人 (換算人数)		0.5人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初) 4,400千円 (うち人件費 4,400千円)					
	⑧施策の位置づけ	施策コード	33103	重点プロジェクトへの位置づけ	重点4		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ○無			
(2) 目的	施策目的・展開方向	待機児童ゼロを堅持するため、保育園や学童保育室など計画的に整備するとともに、多様な保育ニーズを踏まえながら、保育サービスの質の向上を図ります。また、保育園が有する専門的なノウハウをいかし、地域における子育て拠点として子育てをともに支える体制を整備します。			事業目的	平成27年度からスタートした子ども・子育て新制度に対応するため、市民ニーズ調査の結果を踏まえ、就労意向の潜在ニーズを含めた需要量に対する保育園及び小規模保育事業整備等を実施し、今後も待機児童ゼロを堅持する。					
(3) 事業内容	内容	保育所等整備交付金等を活用し、施設整備への補助金を交付する。			当該年度執行計画	【私立双葉保育園】平成30年度より私立双葉保育園の園舎改築計画の協議を実施していく。平成31年度実施設計等の内容を協議・確認し、交付金の準備を進めていく。 【若草幼稚園 (幼保連携認定こども園)】平成31年度実施設計等の内容を協議・確認し、県との交付金等に関する協議を進め、施設整備への補助金を交付する。平成33年4月開園予定。					
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度	・私立双葉保育園の園舎改築に伴い協議を完了する。 ・若草幼稚園の移転及び建築に伴い協議を完了する。				直接	工事の進捗率		%	0	100	
令和2年度	・私立双葉保育園の園舎改築工事を完了する。				直接	工事の進捗率		%		100	
令和3年度					-					0	
(7) 事業実施上の課題と対応	・私立双葉保育園については、仮設園舎を使用して建替えを行うため、長期工事になる可能性がある。 ・若草幼稚園の移転交渉の進展状況により、変更となることもある。				代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		*	双葉保育園の園舎改築に伴う協議	0	*	双葉保育園の園舎改築に伴う協議 ○若草幼稚園施設整備費	0	0	*	双葉保育園園舎改築工事に伴う交付金 保育所等施設整備及び認定こども園施設整備交付金(国負担額) 保育所等施設整備及び認定こども園施設整備交付金(市負担額)	0 108,179 27,045
		予算(決算)額	合計	0	合計	0	合計	135,224	合計	0	
		補助率	0%	0	補助率	50%	0	補助率	50%	108,179	補助率
(9) 財源内訳	国庫支出金	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	
県支出金	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
起債	0	充当率	0%	0	充当率	80%	0	充当率	0%	0	
一般財源	0			0		5,445				0	
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.4		0.5		0.4		0		0	
正職員人件費	3,520		4,400		3,520		0		0		
嘱託職員報酬額	0		0		0		0		0		
臨時職員賃金額	0		0		0		0		0		
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	3,520		4,400		138,744		0		0		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	3,520千円/園		2,200千円/園								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
必要性	評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))				改善検討
	(1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性)	子ども子育て支援新制度の施行に伴い実施した、今後の就労意向を含めた保育需要量に確実に対応し子育て支援を充実させるため、保育園や認定こども園、小規模保育事業の整備が必要である。整備を進めるためには、莫大な整備費用の負担が課題となっているため、本事業は必要である。また、老朽化した保育施設の修繕についても整備費用の負担が課題となるため、緊急に修繕を必要とする施設に対しても本事業は必要である。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？ (市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) □法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給が確保された □⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要
参加・協働の工夫	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？ (体制づくり)	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
効率性	(1) 目標設定は適切か？	現況値 (a) (%)	目標値 (b) (%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率 (%)		○①目標達成 ○②目標未達成	○要 ○不要
	(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費 (c) (千円)	事業費削減額 (d) (千円)	実施予定の対策		実績値 (g) (千円)	対事業費 (%)		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過	○要 ○不要
	(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？ (目標対費用)	目標値対事業費 (e)		計算方法		達成状況		対目標値 (%)		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント					改善案及び展開方向				